

日本第四紀学会 2010 年度 学会賞受賞者講演会(第2回)・シンポジウム

主催：日本第四紀学会 共催：奈良女子大学、奈良女子大学共生科学研究センター

期日：2011年1月22日(土)10:30-17:30 (参加費無料)

会場：奈良女子大学

【日本第四紀学会 2010 年度学会賞受賞者講演会】

10:30-12:00 総合研究棟(文学系)N棟2階N202号室

10:35-11:15 学会賞受賞者：吉川周作(大阪市立大学名誉教授)
「火山灰層序および完新世環境地質に関する一連の研究」

11:20-12:00 学会賞受賞者：岡田篤正(立命館大学)
「変位地形を用いた活断層の活動史および
活断層危険度評価に関する一連の研究」

【シンポジウム】

近畿圏における第四紀研究の新展開に向けてー大阪層群と活断層ー

13:15-17:30 総合研究棟(文学系)N棟2階N202号室

(世話人) 高田将志(奈良女子大学)・三田村宗樹(大阪市立大学大学院)・竹村恵二(京都大学大学院)

大阪層群を中心とする層序学的研究は、近畿圏をフィールドとする第四紀研究の一つの大きな柱として進展してきた。また、近畿圏における活断層・古地震研究も、第四紀研究の一翼を担う大きな柱となってきた。これらの研究を中心で支え、活躍して来られた第1世代の研究者の方々が、既にベテラン～シニア世代となりつつある中で、中～長期的に残された研究課題を総括すべく、本シンポジウムを企画した。近畿圏における第四紀研究となると、本来、研究テーマは多岐におよぶことになるが、今回は、日本第四紀学会2010年学会賞受賞者講演(第2回)のテーマとも関係の深い上記の研究分野を中心として取り上げることにした。本シンポジウムではとくに、中堅～若手の研究者、この分野の研究に興味を持つ学生、あるいは隣接分野の研究者、などの方々に向けて、これまでの研究の総括をしていただき、中～長期的な今後の研究課題について、参加者の方々にも加わっていただきながら、議論を深めていただきたいと思います。

座長：原口 強(大阪市立大学大学院)

13:20-13:55 大阪層群と第四紀ー研究の現状と今後の課題：三田村宗樹(大阪市立大学大学院)

13:55-14:30 近畿圏における第四紀の植生変化と気候変化：高原 光(京都府立大学)

座長：奥村晃史(広島大学大学院)

14:40-15:15 近畿三角帯の第四紀テクトニクス：石山達也(東北大学大学院)

15:15-15:50 近畿圏における先史・歴史時代の地震災害：小松原 琢(産業技術総合研究所)

座長：竹村恵二(京都大学大学院)

16:00-16:20 コメント

：第四紀層序学と環境地質の課題ーとくに近畿圏を中心として：北田奈緒子(地域地盤環境研究所)

16:20-16:40 コメント

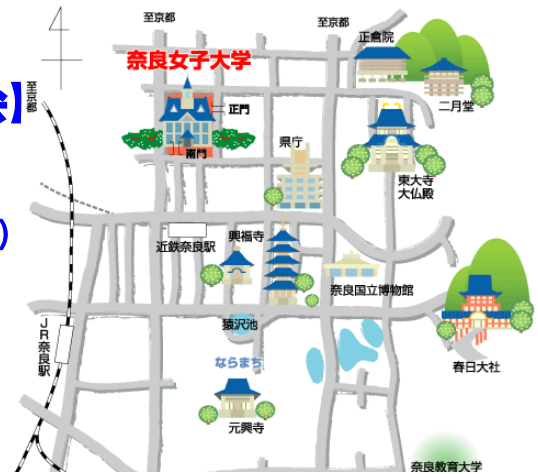
：これからの活断層・古地震研究に向けて：堤 浩之(京都大学大学院)

16:40-17:25 総合討論

【シンポジウム懇親会】17:45-19:30 奈良女子大学生協食堂1階(懇親会費：3,500円)

・懇親会参加希望の方は2011年1月12日(水)までに下記へ御一報ください。

【問合せ・連絡先】高田将志(奈良女子大学) e-mail: takada@cc.nara-wu.ac.jp 電話：0742-20-3323



奈良女子大学：近鉄奈良駅から徒歩5分
近鉄線京都駅←→近鉄奈良駅(特急35分、急行50分)